

まえがき

このたびは『新NISA対応版 いちばんカンタン つみたて投資の教科書』を手にとっていたいただきまして、ありがとうございます。

本書は2024年1月からスタートする新しいNISA制度に合わせ、「これから資産運用をはじめよう」と思っている投資未経験者の方や、「とりあえず始めてみただけど不安だ」といった投資初心者の方に向けて書いています。

私が投資を始めたのは今から18年前の大学生の時でした。その頃は一部の富裕層とデイトレーダーと呼ばれる個人投資家ぐらしか投資をしていない印象がありました。ここ数年で一気に投資家の裾野は広がったように思います。

未成年でも投資をしている方を見かけますし、特に富裕層ではなくても、仕事をしながら投資によって資産形成をしている会社員や公務員の方も多くいます。また、この18年間で金融商品も種類が増え、さまざまな投資スタイルが浸透していきました。

このような変化はすでに投資をしている人たちからすれば歓迎すべきことなのかもしれませんが、投資未経験者や投資初心者には困ってしまうことかもしれません。

どの金融商品を選べばいいのか。どの投資スタイルが自分に向いているのか。

選択肢が増えるということは、同時に選択をする難度が上がってしまうことでもあるのです。そうになると、いざ投資を始めようと思っても、はじめの一步を踏み出す前心が折れてしまいますね。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大、世界各地で起こる紛争、賃金上昇を上回るスピードの物価上昇など、私たちのお金をめぐる環境は悪化する一方です。「人生100年時代」が現実のものになろうとしているなか、本当に豊かな老後生活を送れるだけの資産を、ただ仕事をしているだけで準備できるのでしょうか。

そこで、「将来に備えて何かしなければいけない！」と焦る気持ちと、「でも、何をすればいいのかわからない！」という不安な気持ちを持つ方に向けて、「つみたて投資」という投資の王道をゼロから理解できるように内容にしてみました。

詳しくは本書を読み進めていただければと思いますが、「つみたて投資」を始める前に知っておくべき基本的な内容から実践的な話まで丁寧に書いています。

そもそも投資を始めるために、どこの証券会社や銀行を選べばいいのか。証券口座をどのように開設すればいいのか、という未経験者でもこの1冊があればすぐにでも始められるような内容に仕上がっていると思います。

また、つみたて投資を語る上で外すことのできない制度「NISA（少額投資非課税制度）」や「iDeCo（個人型確定拠出年金）」についての説明もあります。

もちろんNISAは2024年から始まった新しい制度に対応した内容で、初心者の方皆さんにもわかりやすく解説したつもりです。

新しいNISAにしてもiDeCoにしても、国がせっかく用意してくれた有利な制度です。制度の内容をしっかりと理解したうえで有効活用しましょう。制度の存在を知っているかどうかで、投資で発生した利益が全て手元に入るのか、税金が約20%引かれた金額が手元に入るのか、という違いが生じてしまいます。

これから皆さんは20年〜30年という長い期間を通して「つみたて投資」をしながら、

老後資産を形成していこうと考えていると思います。

そうなると、最終的には投資に充てたお金の総額は何百万円、何千万円ということになります。その20%となると無視できる金額ではありません。皆さんには「知らなかった」というだけで何十万円、何百万円というお金を無駄にしてほしくありません。

すでに投資に関する本を読んでみたけれど、専門用語が多くて難しく理解できなかった。なんとなく理解はできたけど、結局何を買えばいいのかわからなかった。そんな声も聞きます。本書では具体的な投資信託も名前を挙げて紹介していますが、これは金融機関からスポンサーを受けて紹介しているものではありません。また、私の独自の観点から紹介しているわけでもありません。金融庁が一定の条件の下で選んだ投資信託の中から、手数料や純資産額など定量的な観点で選んでいます。

これらの投資信託の中から選んで投資をしたからといって、必ず儲かるということではありませんが、明らかに不自然な意思決定となることはないでしょう。

本書が『いちばんカンタン つみたて投資の教科書』として初めて世に出たのは

2020年7月。新型コロナウイルスが世界的に感染拡大を続けていた最中でした。あれから3年以上が経ち、新型コロナウイルスが落ち着いたかと思えば、ロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・ガザ戦争など新たに地政学リスクが顕在化しています。

一方で、法改正によってiDeCoに加入できる上限年齢が引き上げられたり、新しいNISAの内容が公表されるなど、資産運用の観点でも大きな変化がありました。

このように刻々と変化する世の中において、本書が「つみたくて投資」という王道で資産を形成していく皆さんのよきパートナーになれることを切に願います。

2023年12月 森永康平

第 1 章

なぜ、 今つみたて投資なの？



新NISAの登場でますます広がるつみたて投資

024



投資をしていたことを忘れるぐらいのスタンスでOK

032



まずは投資の王道について詳しくなろう

036



計画的な資産運用なしに安心した老後は迎えられない？

043

第 2 章

つみたて投資って そもそも何？

なぜ投資信託を積み立てるのか？ それはマーケットが下落しても強いから！
052

投資初心者に最適な商品！ 投資信託のメリット
059

投資信託ってどのようにして売られているの？
064

早い段階から無理なく始め長期運用のメリットを享受しよう
069

金融商品・時間・地域 e t c . 1 本でもしっかり分散投資
073

投資信託のデメリットと気を付けるべき N G ポイント
079

投資信託はリスクが小さいと安心してはダメ
083

第 3 章

超カンタン

つみたて投資の始め方



つみたて投資は無理のない範囲で安定的に始めるのが正解 088



始めるなら賢く非課税で！ 使いやすくなった新NISAを活用しよう 092



旧NISAを利用していた人はどうなるの？ 099



運用益は非課税、控除もさまざま！ 大きな税制優遇がiDeCoの魅力 103



「新NISA」と「iDeCo」資産運用にはどちらがいい？ 110



投資信託を買うためにまず証券口座を選ぼう 116



スマホでラクラク証券口座の開設方法 120



投資初心者は必ず「特定口座」を選択「源泉徴収あり・なし」は投資スタイルで 124



投資信託の基準価額と純資産総額はどっちが重要？ 127



投資信託の2つの利益 売却益と分配金 131



長期にわたる資産運用ではコツコツと分配金も積み立てる 134



手数料が投資の足かせに？ 取引するなら細部までチェック 138


4

第 章


初めてでもできる！ 投資信託の選び方




投資信託にはさまざまな運用スタイルがある 146

- 


保有資産を見直すリバランスの考え方
194




ポートフォリオを組む際の考え方とは？
190




初心者が選ぶならこの8本
183




投資商品を選ぶ際の5つのポイント
176




目論見書は投資信託のトリセツ
170




運用実績の「トータルリターン」と「騰落率」は長期で見る
167



為替ヘッジって何？「あり」「なし」ではどう違うの？
163



低コストのファミリーファンド方式と分散投資のファンド・オブ・ファンズ
158



初心者には値動きがわかりやすいインデックスファンドがお勧め
150

第5章

長期で投資を 続けるための心得



つみたて投資で成功する人、しない人

200



積立額の増やしどころの判断はどうすればいい？

208



リスクとの付き合い方と複利の魅力を理解する

214



築いた資産の使い方にも明確なルールを！

221

あとがき

227